

報告に対しての意見、指摘（主なもの）

▼旧自治会館の使用期限は。（同様の質問他に2件）

既存の会館の使用は27年度までが原則と示されているが、地元の希望については町に伝える。

▼自治会館の耐震改修はどのようになっているか。（同様の質問他に3件）

町の回答は、耐震改修について調査の結果待ちで、費用対効果も含めて改修がよいか、新築がよいかを地元と相談しながら方向性を考えるとのことであった。

▼エネクリーンの運転開始に伴い滝川市ではゴミの分別方法の変更と料金改定を検討しているが、本町ではどうなるのか。（同様の質問他に1件）



可燃ゴミ焼却処理施設エネクリーン

エネクリーンの供用開始によるごみ料金改定はなく、現状維持していると質問に答えました。その後町に確認をした。町ではごみの処理手数料の有料化を導入した15年度に、ごみ処理経費の住民負担割合を25%として料金を算定した。その後住民負担割合は下がり、24年度では約11%と著しく低下している。この是正措置として、26年度より25%程度の値上げを検討している。また、料金改定と、分別方法の一部変更とあわせて住民説明会の開催を予定しているとのことであった。

▼水災害時の浸水ハザードマップに避難場所、経路を明確に。（同様の質問・類似合わせてほかに2件）

防災計画が改訂されたばかりであること、また、地元として日頃から安全である場所について検討して提案してはどうか。

また、町では、25年3月地域防災計画を改訂したばかりであり、その中で、耐震性を有している避難所、洪水想定外区域にある避難所における収容可能人数を再整理している。洪水時に速やかな避難指示が出せるように、町内会を最小単位とした避難計画を作成中であるとのことであった。



▼高齢者宅の屋根雪おろし

個人住宅への行政の関与は慎重を期すべきである。しかし、高齢者等の冬期間の安全安心な生活環境を支援する行政サービスは重要である。これらを考慮し今後地域の民生委員と相談しながら状況を把握し、関係課と支援の方策について検討する。

▼路線バスの廃止から乗合タクシーとなったが、高齢者は乗用車タイプでは乗降しづらいと町に伝えているが改善されない。また、事前登録者だけの乗降も不便。

町へ確認したところ次のと

おり回答を得た。

地域公共交通として運航している乗合タクシーやワゴンバスは、従来運行していた中央バス区域を完全予約制で、利用者は町内外を問わず利用できる。地域公共交通は住民の重要な足であり、可能な限り利便性を高めて利用促進に努めていく。また、利用者からの苦情に対しては、問題の解決に適宜迅速に対応し、地域公共交通の充実に理解を求めていく。

▼灯油価格の値上がり心配、福祉灯油の導入は？

低所得者の方々の負担軽減を図るため、値上がり著しい場合は、福祉灯油助成を町に提案する。

この他多くの意見要望については、後日行政区域長を通じて詳細を報告します。